

## 令和2年度の活動事例

### ・屋外の良好環境である景観地区の活用(一般社団法人ヒガシミノ団地)

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和元年度に実施できなかった老朽化したベンチと本町広場用の看板の修復を大学生と協力して行いました。また、昼夜の良好な景観ポイントがわかる、街歩きを促すためのマップを作成しました。

(当初街歩きイベントを予定していましたがコロナウイルスの影響により実施できず)



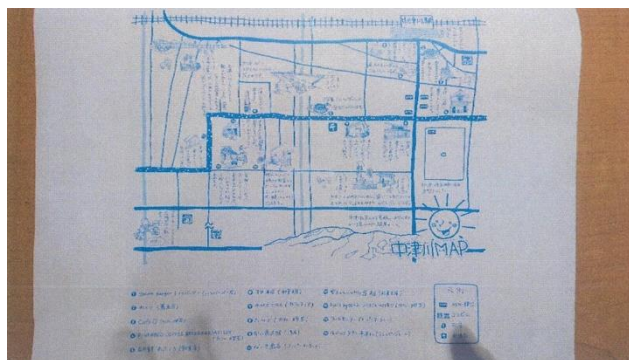
活動の様子



ベンチ(holiday park 前)



本町広場の看板



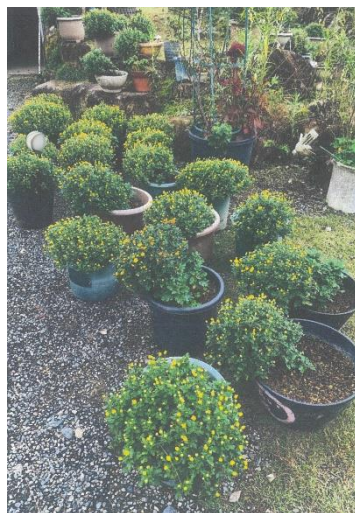
まち歩きマップ

### ・菊の花つくり(落合姫宿の会)

落合の中山道沿いに菊の鉢植えを飾り、さわやかなまちなみを演出しました。毎年行われているこの活動により、菊の花造りの活動に興味を持ち参加する人が増えており、花によるまちづくりの輪が広がっています。



活動の様子



菊の花



### ・花と水と人のふれ合う町(中山道こまちの会)

四季折々の花を中津川宿の街道沿いに飾り、一体的なまちなみを演出しました。街を歩く観光客の姿は激減してしまいましたが、「また歩きたい」「また訪れたい」と思ってもらえるようなまちを目指し、取り組みは続いています。



花飾り

・空き家の格子戸再生で統一的なまちなみを演出(中山道こまちの会)

中山道こまちの会が植栽や季節の飾りつけに利用し、中津川宿の景観形成に大きく貢献している空き家の格子戸が傷み、大きく景観を損ねていたため会員で協力して格子戸の作成や塗装などを行いました。格子戸がきれいになり、より飾り物が映えるようになりました。



活動の様子



修復後の格子

・のれん、のぼりで統一的なまちなみ作り(落合姫宿の会)

毎年秋の落合宿場まつりに合わせて藍染ののれん、のぼりを街道沿いや住宅に設置しています。今回は既存ののれんは大きすぎるとい声もあり、設置しやすい短いのれんを作成しました。これによって今までののれんを設置できなかった住宅でも設置してもらえるようになり、より統一的なまちなみを演出することができました。



活動の様子



のれん

・落合宿常夜燈移設事業(落合まちづくり推進協議会)

元々落合宿内にあった常夜燈が宿場外に移設して140年。落合宿の往時をしのぶ景観づくりを目指し常夜燈を宿場内に移設しました。この常夜燈移設をきっかけに、今後も落合宿の魅力向上につながる活動を展開し、観光客の増加や地域住民の愛着形成を目指します。



常夜燈(移設後)

・竹灯りの心地よい灯りでまちなみを演出し、夜間の来訪者を増やす(馬籠ルネッサンス実行委員会)

地域資源である竹を活用した竹灯りアートをワークショップにて作成しました。前年度作成した切り絵を用いた行灯とともに馬籠宿に飾り、夜の静かな街道を演出しています。今後は夜の宿场景観を活用したイベント等の実施も検討していきます。



竹あかり